

2014年12月11日「赦しがもたらしたもの」

< 聖書箇所 > 「ルカによる福音書 23章 32節～43節」

さて、イエスと共に刑を受けるために、ほかにふたりの犯罪人も引かれていった。されこうべと呼ばれている所に着くと、人々はそこでイエスを十字架につけ、犯罪人たちも、ひとり右に、ひとりは左に、十字架につけた。そのとき、イエスは言われた、「父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです」。人々はイエスの着物をくじ引きで分け合った。民衆は立って見ていた。役人たちもあざ笑って言った、「彼は他人を救った。もし彼が神のキリスト、選ばれた者であるなら、自分自身を救うがよい」。兵卒どももイエスをののしり、近寄ってきて酔いぶどう酒をさし出して言った、「あなたがユダヤ人の王なら、自分を救いなさい」。イエスの上には、「これはユダヤ人の王」と書いた札がかけてあった。

十字架にかけられた犯罪人のひとりが、「あなたはキリストではないか。それなら、自分を救い、またわれわれも救ってみよ」と、イエスに悪口を言いつづけた。もうひとりは、それをたしなめて言った、「おまえは同じ刑を受けていながら、神を恐れないのか。お互は自分のやった事のむくいを受けているのだから、こうなったのは当然だ。しかし、このかたは何も悪いことをしたのではない」。そして言った、「イエスよ、あなたが御国の権威をもっておいでになる時には、わたしを思い出してください」。イエスは言われた、「よく覚えておこう、あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう」。

< 説教抜粋 > 「赦しがもたらしたもの」

今日の礼拝の説教の題名は、「赦しがもたらしたもの」です。聖書では、ルカによる福音書 23章 32節～43節です。イエス様は生涯の結論を十字架で迎えざるを得ませんでした。イエス様の生涯を象徴するような言葉が、今日の拝読箇所に書かれています。

「父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです」。しかし、イエス様は、この言葉を言うために来られた方ではありませんでした。しかし、「さて、イエスと共に刑を受けるために、ほかにふたりの犯罪人も引かれていった。されこうべと呼ばれている所に着くと、人々はそこでイエスを十字架につけ、犯罪人たちも、ひとり右に、ひとりは左に、十字架につけた。」

そのとき、イエスは言われた、「父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです」。イエス様は、メシヤとして来られました。しかし、その目的の途中で十字架にかけられて死んでしまったのです。

それでは、イエス様が素晴らしい方であるということを知っていたのでしょうか。「人々はイエスの着物をくじ引きで分け合った。民衆は立って見ていた。役人たちもあざ笑って言った、「彼は他人を救った。もし彼が神のキリスト、選ばれた者であるなら、自分自身を救うがよい」。

ここに書かれた、イエス様を殺害しようとしている役人たちは、イエス様を蔑みながらも、「彼は他人を救った。」と証言しています。イエス様は、決して恵まれた生涯ではありませんでした。イエス様が十三歳の頃のエピソードには、宮詣のときに、家族たちがイエス様を忘れて三日路を行ってしまったという話があります。

つまり、イエス様は、家族からも関心を持たれることなく、少年時代を送ったと言えるでしょう。このような孤独な人が、どうして、自分を殺そうとする人を神にとりなすことができたのでしょうか。私たちは、人を赦すということがとても難しいことであると知っています。

「兵卒どももイエスをののしり、近寄ってきて酔いぶどう酒をさし出して言った、「あなたがユダヤ人の王なら、自分を救いなさい」。イエスの上には、「これはユダヤ人の王」と書いた札がかけてあった。十字架にかけられた犯罪人のひとりが、「あなたはキリストではないか。それなら、自分を救い、またわれわれも救ってみよ」と、イエスに悪口を言いつづけた。

もうひとり、それをたしなめて言った、「おまえは同じ刑を受けていながら、神を恐れないのか。お互は自分のやった事のむくいを受けているのだから、こうなったのは当然だ。しかし、このかたは何も悪いことをしたのではない」。そして言った、「イエスよ、あなたが御国の権威をもっておいでになる時には、わたしを思い出してください」。

イエスは言われた、「よく言うておくが、あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう」。イエス様の右側と左側には、それぞれ強盗が十字架にかかっていました。十字架上のイエス様を証したのは、右側の強盗だけだったのです。

さてここで、私たちは、イエス様の赦しがもたらした力を考えなければなりません。2000年間のキリスト教の歴史の原点は、正にイエス様の十字架上で赦しの言葉にありました。つまり、イエス様の赦しの心情が、その後の世界中の人たちの心を揺り動かしたと考えることができるのです。

今日の説教の題名は、「赦しがもたらしたもの」です。2000年前のイエス様の、十字架上

での赦しは、再臨のメシヤを迎えるための堅い礎となりました。私たちも、再度、赦しが持つ力を考えてみたいと思います。